

平成30年度第4回公立大学法人福知山公立大学評価委員会 議事録概要

1 日 時 平成30年8月7日(火) 14:00～15:45

2 場 所 福知山市消防防災センター 防災研修室(2階)

3 出席者

委員	青山委員長、大久保委員長職務代理、菊田委員、中井委員、細見委員
福知山市	大橋次長、岸本課長補佐、大槻主査、中田囑託
福知山公立大学	山本事務局長、竹友事務局次長、内田GM、外賀AM、中尾

4 会議概要

	議題・報告事項	内容
1	【議題】 平成29年度公立大学法人福知山公立大学業務実績評価について	【資料1～3】により、業務実績評価書原案の修正審議を行った。
2	【報告事項】 平成29年度公立大学法人福知山公立大学財務諸表等について	【資料4～7】により、財務諸表及び剰余金に係る事務局確認事項を報告した。
3	意見交換・質疑等	(主な意見) 【議題】 ■年度計画 No. 108 を「2」と評価したのは決して学生募集活動が十分でないからではない。法人の努力は委員全員認めている。しかしながら、福知山公立大学の設立経過を鑑みると、もっと地元学生に入学してもらえる大学になってもらいたいというのが評価委員会としての思いである。 ■福知山公立大学の設立趣旨は、北部地域の振興にあると考える。地元からの入学者であれば、郷土愛等により、この地域に残ってくれる可能性が高い。地元であれば、遠方の高校と比べて多数の高校を訪問することができるとともにコストも低く抑えられるため、費用対効果が高い。地元からの入学者の確保に向けて頑張ってもらいたい。 ■新学部だけを全面に出すのではなく、既存学部である「地域経営学部」も強く打ち出してほしい。これだけ地域連携に取り組まれている大学は他

		<p>にはないと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ある程度優秀な学生に入学してもらうためには、惹きつけるものが必要。しかも高校2、3年生となると、ある程度のレベル高い特記事項でなければ、逆効果になる恐れがある。何をもって福知山公立大学のアピール材料とするのか慎重に検討いただく必要がある。 ■入学者数の目標設定は試験結果（合否判定）を伴うため困難とのことであるが、入学者数を目標設定に掲げることこそ一番重要。年度計画として設定するかどうかは別だが、学内的には検討いただきたい。 ■志願者、入学者を確保するためには、ターゲットマーケティングが重要。自分たちのターゲットはどこにあるのか、彼・彼女達に志願・入学してもらうためにはどうすればいいのか検討し、戦略的に学生募集活動を展開いただきたい。 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■自己収入増収、経費削減等に努められており、法人の経営努力が認められる。今後も一層の経営努力を図られたい。 ■財政健全化のためにも授業料等収入を獲得できるよう学生募集活動を頑張ってください。
--	--	---

5 開催結果概要

若干の文言の修正を行ったうえで、以下のとおり評価を確定する。

【全体評価結果】

評価	評価基準
B	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。

【大項目別評価結果】

大項目	評定	評価結果	S	A	B	C	D
			中期計画の達成に向け特筆すべき進捗状況である	中期計画の達成に向け順調に進捗している	中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している	中期計画の達成のためには進捗が遅れている	中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある
第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置	B	○					
第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置	B	○					
第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 3 地域協働(地域貢献)の質の向上に関する目標を達成するための措置	B	○					
第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	B	○					
第6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	B	○					
第7 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置	B	○					
第8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	B	○					
第14 福知山市の規則で定める業務運営に関する事項	B	○					

【小項目別評価結果】

大項目番号	項目	項目数	評価委員会評価結果					評定平均値
			5 年度計画を大幅に上回って実施している(特に優れる若しくは顕著な成果がある)	4 年度計画を上回って実施している(上回る若しくは十分な実施)	3 年度計画を概ね実施している	2 年度計画を十分に実施できていない(下回る若しくは実施が不十分)	1 年度計画を大幅に下回っている	
1	第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置	36	0 0.0%	1 2.8%	34 94.4%	1 2.8%	0 0.0%	3.0
2	第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置	11	0 0.0%	3 27.3%	6 54.5%	2 18.2%	0 0.0%	3.1
3	第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 3 地域協働(地域貢献)の質の向上に関する目標を達成するための措置	16	0 0.0%	2 12.5%	14 87.5%	0 0.0%	0 0.0%	3.1
4	第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	31	0 0.0%	1 3.2%	29 93.5%	1 3.2%	0 0.0%	3.0
5	第6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	24	0 0.0%	0 0.0%	21 87.5%	3 12.5%	0 0.0%	2.9
6	第7 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置	12	0 0.0%	1 8.3%	11 91.7%	0 0.0%	0 0.0%	3.1
7	第8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	22	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3.0
8	第14 福知山市の規則で定める業務運営に関する事項	7	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3.0
	合計	159	0 0.0%	8 5.0%	144 90.6%	7 4.4%	0 0.0%	3.0

6 次第

(1) 開会挨拶 青山委員長

(2) 事務局挨拶 大橋次長

(3) 議題：平成29年度公立大学法人福知山公立大学業務実績評価について

【資料3】により、法人から業務実績評価書原案に対する意見内容を説明。

(⇒は法人回答)

(委員)

- 年度計画 No. 101 の達成指標をどのように考えているのか教えてほしい。

⇒志願者増を指標としている。

(委員)

- 計画の実施状況の記述では何をもって「3」と評価されたのか読み取れない。中期目標には「北近畿地域からの入学者確保を重点的に取り組む。」とある。福知山公立大学の設立経過を鑑みると、まずは地元からどれくらい入学者を確保するかという目標を立てた上で、北近畿地域外からの入学者確保の目標を立てるべきであると考え。
- 1千校近い高校を訪問されたことには敬意を表するが、どのような戦略を持って高校訪問を行ったのか。遠方の高校ほどコストがかかる。また、北近畿地域の高校に対して年3回訪問するという目標を掲げられているのに対し、3回訪問されていない高校があるが、訪問しなくて良いと判断されたのか。
- 法人が責任を持って設置された既存学部を地元から好かれるようにすることが重要ではないか。
- 私は、たとえ地元学生であっても、学力成績が伴っていない学生を入学させるべきではないとは思っている。我々が地元からの学生確保に強くこだわっているのは、前身の大学のように地元からほとんど学生が入学しない大学になってほしくないからである。何故福知山市内の公立私立高校の優秀な学生が福知山公立大学を素通りしているのかを考えてほしい。学生募集戦略を立てるのであれば、重点地域を設定し、どの地域からどれくらいの学生を確保するというのを計画すべきである。メリハリをつけた学生募集戦略を立てるべきである。ローラー作戦で高校訪問をするのはもう古い。

⇒志願実績のあった高校及び国公立志向が高い府県の高校を中心に高校訪問を行った。

私学時代のイメージが影響していることは事実である。兵庫県内の高校からは比較的志願いただいているが、京都府内は私学時代のイメージをひきずっていることや福知山公立大学への入学1期生の就職実績がないことから様子見の段階である。しかしながら、少しずつ本学に関心を寄せてくれている高校が増えていると感じている。

(委員)

- 年度計画 No. 101 の目標は、「北近畿地域の高校からの志願者増」である。現在の状況で3と評価することにより、現状に満足されてしまうことにつながらないか危惧した。「志願者総数が165名減少している中での2名減少であり、目標を十分達成している。」と捉えてほしくない。北近畿地域の高校からの志願者増に向けて、さらなる努力を行い、上を目指してほしい。

(委員)

- 決して学生募集活動が十分でないから「2」と評価したわけではない。法人の努力は委員全員認めている。しかしながら、福知山公立大学の設立経過を鑑みると、もっと地元学生に入学してもらえる大学になってもらいたいというのが評価委員会としての思いである。
- 北部市町からの入学者数がそれなりにいる状況になれば、北部市町の自治体が福知山公立大学の運営に参画いただける良い材料にもなる。

(委員)

- 志願者増に努められていることは評価できる。
- 福知山公立大学の設立趣旨は、北部地域の振興にあると考える。地元からの入学者であれば、郷土愛等により、この地域に残ってくれる可能性が高い。地元であれば、遠方の高校と比べて多数の高校を訪問することができるとともにコストも低く抑えられるため、費用対効果が高い。私学時代のイメージを払拭するためには大変な労力を要するだろうが、地元からの入学者の確保に向けて頑張ってもらいたい。

(委員)

- 志願者、入学者の確保は財政健全化にもつながる重要な事項である。北近畿地域からの志願者、入学者を確保することはもちろん重要であるが、財政健全化のためにも北近畿地域に限らず多くの都道府県から志願いただけるような大学になるよう頑張ってもらいたい。

(青山委員長)

- 年度計画 No. 101 は、今後の大学の奮闘を期待する意味で、現行どおり評価「2」とさせていただきたい。

(委員)

- 年度計画 No. 18 に係る意見書において、「地域別の入学者数等の目標を設定することは困難」とあるが、例えば、「入学定員のうち2割を地元から確保する。」という目標を掲げた結果、目標を達成できずに評価「2」となったからといって×ということにはならない。「2」であれば、次年度、高評価を獲得するためには何をすればいいかという課題を発見することにつながり、それを実行することによってPDCAサイクルを回すことにつながる。「2」と評価されたから駄目な法人であるとは思っていない。
- 福知山公立大学の一番の看板は「地域連携」である。高大連携を推進し、推薦入試に結び付けられないだろうか。
- 年度計画 No. 18 の評価コメントに記載している「地域別の入学者数等の目標」の「地域別」は、北海道から○人、東京から○人という意味ではない。学生募集活動の重点地域を定めて戦略的に高校訪問活動等を行っていただきたい。
- 地元からの志願を確保するためにボーダーラインを下げることはしてはいけないと思う。

⇒一部高大連携は行っているが、検討していきたい。

新学部設置構想の案内も兼ねて高校との連携を行っていきたい。

(委員)

- 新学部だけを全面に出すのではなく、既存学部である「地域経営学部」も強く打ち出してほしい。これだけ地域連携に取り組まれている大学は他にはないと思う。

(委員)

- ある程度優秀な学生に入学してもらうためには、惹きつけるものが必要。しかも高校2、3年生となると、ある程度のレベル高い特記事項でなければ、逆効果になる恐れがある。何をもちて福知山公立大学のアピール材料とするのか慎重に検討いただく必要があると考える。
- 高校現場の先生方の意見を吸い上げればキラリと光るものがあるかもしれない。
- 入学者数の目標設定は試験結果（合否判定）を伴うため困難とのことであるが、私は入学者数を目標設定に掲げることこそ一番重要であると考え。年度計画として設定するかどうかは別だが、学内的には検討いただきたい。

(委員)

- 志願者、入学者を確保するためには、ターゲットマーケティングが重要である。自分たちのターゲットはどこにあるのか、彼・彼女達に志願・入学してもらうためにはどうすればいいのか検討し、戦略的に学生募集活動を展開いただきたい。

【結論】

(年度計画 No.18)

大項目別評価(第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置)の課題となる点等の1項目目のコメントを及び小項目別評価の評価委員会コメントを以下のとおり修正する。

《大項目別評価》

地域に根ざした公立大学として、推薦入試の地域枠も活用しながら、地域別の戦略的な学生募集計画を策定し、具体的な活動目標(高校訪問数、エリア、SNS 登録者数等)を設定の上、志願者数、志願倍率に加えて、最終的には入学者数の増加につながるような目標を設定いただきたい。

《小項目別評価》

精力的な募集活動により、多数の志願者を確保できたことは評価できるが、地域に根ざした公立大学として、推薦入試の地域枠も活用しながら、地域別の戦略的な学生募集計画を策定し、志願者数、志願倍率に加え、入学者数の増加につながる目標を設定いただきたい。

(年度計画 No.101)

現行どおり、評価「2」とする。また、評価委員会コメントも現行どおりとする。

(5) 報告事項：平成29年度公立大学法人福知山公立大学財務諸表等について

【資料4～7】により、財務諸表及び剰余金に係る事務局確認事項を市から説明。

(⇒は市回答)

(委員)

- 「資料7」②支出の部の教育研究費予算残高が12,142千円生じているが、その理由は。

⇒実践教育実習費(3,153千円)に加えて、一般管理費への科目変更(5,000千円)、外部資金(科学研究費、受託研究費)の獲得に伴う間接経費分の消耗品への充当(1,020千円)、支出抑制等を行うことにより生じたものである。

(委員)

- 「資料7」②支出の部の人件費が増えた理由として、人事院勧告による給与改正が挙げられているが、その増加分は運営費交付金に追加するなどして福知山公立大学に予算措置しているのか。

⇒福知山公立大学には当初予算の枠内にて対応いただいております、予算措置していません。

(委員)

- それでは法人にとって大きな負担になっているのではないかと。今後は予算措置いただくよう検討いただきたい。

(委員)

- 自己収入増収、経費削減等に努められており、法人の経営努力が認められる。今後も一層の経営努力を図られたい。また、財政健全化のためにも授業料等収入を獲得できるよう学生募集活動を頑張ってください。

(青山委員長)

- 財務諸表及び剰余金について、評価委員会としては承認することについて異議はなく、法令上は評価委員会として意見を申し上げる必要はないが、委員の皆様から出た意見を議事録に残していただくようお願いしたい。

6 その他

(法人)

中期目標において、現在の状況に合致しない目標や体系的に見直しが必要な目標があるように見受けられる。そのため、年度計画を策定する際に再掲を設定せざるを得ない項目が少なくない。評価委員会として中期目標を精査いただきたい。

7 閉会

(事務局)

本日の意見等を踏まえ、事務局において速やかに業務実績評価書を修正し、委員の皆様にお届けさせていただくので御確認いただきたい。委員の皆様の承認が得られ次第、業務実績評価書として確定し、法人に通知するとともに、市長にも報告させていただく。

以上